

出張報告届

令和6年3月29日

吹田市議会議長様

会派名 吹田党議員団
代表者氏名 後藤恭平
出張者氏名 後藤 恭平
石川 勝

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	参議院会館
期間	令和6年3月27日から3月27日まで1日間
出張の成果	別紙のとおり
備考	・総務省・こども家庭庁からのレクチャー ① 令和5年度総務省所管 補正予算の概要 ② 令和6年度総務省所管予算の概要 ③ 令和6年度こども家庭庁当初予算案の概要 ④ 令和6年度こども家庭庁予算案のポイント



(別紙)

●総括：総務省からの聴き取りでは、DXの推進など新しい時代に向けた施策に対する費用が多方面で計上されていることの説明を受け、こども家庭庁からは、国会でも議論が深まっている諸課題についての現状をお聞きした。総論として、国が地方の現場の**実情**について網羅的に把握することは無理だということは理解するが、部分的に理解に苦しむ点もあった。地方議員としても全国の議員たちとの情報交換を通じて、地方行政の在り方や現場の実情をもっと国へ伝えていく必要性を強く感じた。吹田党議員団としては、引き続き吹田市のみならず近隣市や全国の政治家からの情報を集めて市政に反映できるよう更なる政務活動を推進していくことを確認した。

●吹田市に關係する注目すべきポイント

① 令和5年度総務省所管 補正予算の概要

- ・経済対策に係る追加 7,387億円
- ・インバウンド向け放送コンテンツによる地域情報発信力強化事業
- ・多言語翻訳技術の高度化に関する研究開発費用が推進される
- ・デジタル地方活性化の観点から、地域活性化起業人（企業人材派遣制度）が更に推進されるので、自治体と民間企業のマッチングを推進できる。
- ・デジタル人材の育成が進む
- ・自治体フロントヤード改革支援が進む→総合的な改革モデルの構築
- ・マイナンバーカードの利便性の向上や取得環境の整備が進む→出張申請受付等の推進。
- ・自治体情報システムの標準化に向けた費用を補助（吹田市でも順次推進中であるが、取り漏れている可能性）

② 令和6年度総務省所管予算の概要

- ・主権者教育の推進1.3億円
- ・サイバーセキュリティ対策の強化18.4億円
- ・地域おこし協力隊の強化→6000人から10000人への強化→吹田での可能性の検討
- ・地域再エネ活用に関する事業への重点支援。（注目）
- ・デジタル技術を活用した郵便局と地域との連携促進→遠隔医療（以前吹田のコンビニでやっていた高齢者へ対する施策との関連性）
- ・ナショナルサイバートレーニングセンターにおける人材育成→国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）で、地方公共団体への実践的サイバー防御演習及び若手ICT人材を対象とした最先端のセキュリティ人材育成→17.4億円

③ 令和6年度こども家庭庁当初予算案の概要

- ・こどもの意見聴取と政策への反映に6億円→自治体の計画策定支援費
- ・少子化克服策→結婚支援に力点を置いた方向性
- ・高等教育の無償化→5438億円（※）

④ 令和6年度こども家庭庁予算案のポイント

- ・こども未来戦略に基づく政策の抜本的な強化に向けて歩みだす年
- ・一般会計と特別会計をドッキングさせて、総合的に見える化を図り、入りと出

の透明性を高める方針。

- ・児童手当→1兆5146億円
- ・出産子育て→624億円
- ・高等教育→5438億円
- ・祝員配置基準保育士等への処遇改善→1兆6617億円
- ・放課後児童クラブ→2074億円
- ・多様なニーズへの費用→7621億円